

**特別支援教育に関する
説明会を開催しました**

7月1日と3日に市民ホールで、発達障害や特別支援教育で市民の皆さんに理解していただくため説明会を開催しました。一日目は、「キャラバン隊にじのかけはし」の皆さんに、発達障害の疑似体験等をテーマに講演していただきました。



「特別なやり方が必要な子どもたちの理解のために」というテーマの紙芝居に続き、軍手をはめて教科書のページをめくったり、折り紙を折るなどの疑似体験を行いました。取り組みに時間がかかる中で、出来るところは見守り、出来ないところは手伝うなどの援助の視点の紹介がありました。

二日目は、市内の特別支援級の担任と、昭島市特別支援教育研究校である拝四小の校長先生から、現在行われている取り組みや実践についての話がありました。

拝四小では、ユニバーサルデザインの指導方法について実践研究をしています。これは、特別な指導や支援が必要な児童にとつて学びやすい・わかりやすい授業は、他のすべての児童にとつても同じで、「わかった!」という喜びや楽しさから自己肯定感を高めていくことを目的としています。

通級指導学級(拝三小たんぼぼ学級、瑞雲中ずいぶん学級)の担任からは、通っている児童・生徒の傾向や、学級での学習活動などの説明があり、在籍学級との連携の大切さの説明がありました。

知的固定学級(田中小ふたば学級)では、一人一人の成長や発達を目指して、それぞれの児童の興味があることや得意なことから、身辺自立や表現する力を学んでいく学習活動を行っています。通常の学級と一緒に学校行事や学年行事等にも取り組んでいます。

来年1月21日(水)にはKOTORIホール(昭島市民

会館)で特別支援学級合同学習発表会を開催します。

**公民館主催
「JAXA子ども科学教室」
が実施されました**

8月7日に公民館小ホールで「JAXA子ども科学教室」が開催され、小学校3年生から6年生38人が参加しました。

この事業は、子どもたちの宇宙科学への関心を高めるため、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力のもとに行っています。

講師にJAXAの小定弘和さんを迎え、前半は宇宙飛行士の活躍を中心に空気力学や飛行力学などについて、小学生にも理解しやすいように話していただきました。

子どもたちは、船外活動時の生命維持装置の重要性や事前準備の大切さを学びました。

子どもたちからは、「宇宙に行つて宇宙食を食べたい」「学校の授業が大切な事、色々な人のコミュニケーションが必要なの事があった」など、たくさん感想が寄せられました。

後半は各自、思い思いの絵を書いた傘袋ロケットを作つて、

上手に飛ばすコツを学び、みんなで飛ばしました。「家に帰つたらもつと飛ぶロケットをつくりたい」と意欲を見せる子もいました。科学の面白さを存分に味わっていました。



玉川会館の休館

耐震補強工事のため休館します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

休館期間 平成26年11月1日～

平成27年3月31日

※詳しくは、社会教育課

☎544 5111へ

「未来をひらく」発表会

「青少年とともにあゆむ都市宣言」の趣旨に伴い、この宣言の精神を実践活動につなげていくための、小・中学生による発表会です。意見文の発表、英語でのスピーチ、海外交流の派遣報告会を行います。

- 第1部 第32回子ども主張意見文コンクール
 - 第2部 第3回中学生英語スピーチコンテスト
 - 第3部 中学生海外交流事業派遣報告会
- ◇日時 9月13日(土)
午後1時～4時45分
- ◇場所 市役所市民ホール

ご寄付ありがとうございました
(敬称略)

「学校教育充実のために」

- ▽美術デッサン用石膏像(6種類)、美術全集 剣持 伴紀
- ▽囲碁セット(14セット)

「小学生のスポーツ振興のために」

- ▽2014 FIFAワールドカップブラジル大会公式試合球レプリカ(15個)
- 昭島市内郵便局